しご議大の造日	AND A REAL AND A
内明一戰に所本	
地治決役し東皮	
般皮ち遭當製株	
の革資週時皮式	
雷業本 し 兵 合 會	
要を金て制資社日	
12 12 一	
應表百技革 前 明 本	
じす五術と及治皮 博精同	
既る拾成共今四 世 博精同	明 十 藤 本
にも万熟に宮+ 革 し巧法	工年井製 特
外の圓せ鞣皮作 株 叉人追	* III * IF 3
図 金 て し 早 早 四 _ 中 谷 日 川	業 前 家 作 許 に よ 美 所 許
品々以がの合月 式 博を特	苦り術は藤
を事て小方資の會覽發許	心本象藤 井
<b>座 未 成 盲 広 晋 辺                                  </b>	す事 篏井 象
倒を立社も社立社よ。得	る業の美協
す 擴 し 分 専 等 な り 十 尚	す事 (前 井 泉) 家 美 の 美 事 豊 家 家 歌 男 の 美 の 美 の 美 の 教 伝 教 の 男 の ま の 月 の 月 の 月 の 月 の 月 の 月 の 月 の 月 の 月
る 張 た 立 ら に る 受 二 ほ	年開に君役
にしるは範しが 賞年敷	卅始後の作
至軍も製をて其 すの島	五しふ經所
れ用の品歐明前 る交笠	年盛由營
りの本統米治身 數よ火	途名來す
外 會 一 に 初 は 度 り 熨	にあ遠る
更 社 上 取 期 株 洵 海 斗	藤りく所
になにり前式 に外等 米り不改後會 當に數	井 君 也
0	象君が君
	篏風四明
	の に 世 治 特 東 の 元
靴れれ磨立組  術し發 底ばばをせ大 品て明	特 東 の 元 許 京 祖 年
革本と積ら倉 の頗あ	市 尿 順 卓 を に 即 京
	受出ち都
を 會 て み れ 組 精 る り。 も 社 軈 殊 た 皮 華 賞	サイニに
製はてにる革 也 讃 製	爾、百生
造殆協ニも製を品	後發数る

\*

## 業事の習

朔

## **Tranlation:**

特許藤井象嵌製作所

本制作所は藤井美豊の経営する所也、君、明治元年京都に生る藤井家美術象 嵌の事に従ふ由来遠く、君が四世の祖、即ち二百数十年前より本事業を開始 し、盛名あり。君夙に東京に出で々発明工業に苦心する多年、卅五年遂に藤 井象嵌の特許を受け、爾後同法追加特許を得、尚ほ敷島笠、火熨斗、等数種 の発明あり。製品精巧、人目を奪ふ。十二年の交より海外に輸出して頻る賞 賛を博し、又各博覧会より受賞する数度、洵に当代美術品の精華也。

Licensed (patented) Fujii Damascene Workshop

This workshop is a place operated by master Fujii Yoshitoyo. He was born in the first year of Meiji in Kyoto and his servitude to the damascene artwork of house Fujii has come a long way. He is the fourth generation in the lineage, ergo this business was founded two hundred and some years ago and has made a name for itself. He was fast to go to Tokyo and after laborious years finally acquired at 35 years old the Fujii damascene license, and acquired many additional patents after that, among those from Shikishima Ryu and (from? for?) Hinoshi (seems to be some kind of iron). The products were excellent, drawing people's admiration. After 12 years of work he exported abroad, often earning praise and winning prizes at exhibitions several times, it really is the flowering quintessence of this generation.